

- 問1 関東地方の各都県の工業について述べた次の文のうち、2011年の統計において製造品出荷額の合計が約11兆9000億円にのぼり、化学や石油・石炭製品、鉄鋼などの重化学工業を主体とする千葉県の特徴を説明しているものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 情報通信機械器具などの電気機械工業の割合が高く、内陸型の工業が発達している。
 - 自動車などの輸送用機械の割合が最も高く、出荷額合計は約17.9兆円に達する。
 - 印刷業や出版業の割合が他県に比べて高く、出荷額合計は約8.9兆円である。
 - 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。
- 問2 日本の空港利用に関する統計において、成田国際空港と東京国際空港（羽田）の合計旅客数が一億二千万人を超えているという事実は、日本の社会においてどのような規模感であると言えますか。最も適切なものを選びなさい。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- 成田国際空港の旅客数が東京国際空港を圧倒しているため、千葉県が日本最大の航空交通の拠点となっている。
 - 旅客数よりも貨物取扱量の方が重要視される日本の航空業界において、例外的に旅客数が多い事例である。
 - 日本の総人口に匹敵するほどの極めて大きな規模であり、東京圏が世界的な交通の拠点であることを示している。
 - 2つの空港を合わせても一億人に到達しておらず、アジアの他の主要都市のハブ空港に比べると規模は小さい。
- 問3 北側の筑波山山頂から南側の市街地に向かって直線を引いた地形図をもとに、地形の起伏を横から見た「断面図」を作成することを想定します。この地形図において、山頂付近では等高線の間隔が非常に狭く、南側の市街地に近づくにつれて等高線の間隔が広がっているとき、読み取れる地形の特徴として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- 山頂付近は斜面が急であり、市街地に向かってにつれて傾斜がなだらかになっている。
 - 山頂から市街地にかけて、標高の変化が全くない平坦な地形が続いている。
 - 市街地の標高が最も高く、北の山頂に向かって標高が徐々に下がっている。
 - 山頂付近は平坦な土地が広がっており、市街地に向かってにつれて急な崖になっている。
- 問4 東京都、埼玉県、茨城県の人口動態をまとめた資料において、埼玉県の「昼夜間人口比率」が100%を下回っている状態を正しく解釈したものはどれか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。
 - その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。
 - 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を超過している。
 - 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の方が多い「社会減」の状態にある。
- 問5 関東地方の北西部に位置する内陸県の一つで、利根川の上流域に広がり、県庁所在地を前橋市に置く自治体はどこですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- 群馬県
 - 茨城県
 - 栃木県
 - 埼玉県
- 問6 東京国際空港（羽田空港）から、新千歳空港や那覇空港へ向かう航空路線の旅客輸送数は、他の都市間を結ぶ路線に比べて非常に多いことが特徴です。このように、長距離区間において航空機の利用が鉄道（新幹線）に対して高い競争力を持つ主な理由として、適切な説明はどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- 北海道や沖縄県には鉄道が一切通っておらず、島国である日本において他地方と移動する手段が航空機に限られているから。
 - 航空機は鉄道に比べて一度に運べる貨物量が多いため、旅客と同時に大量の農産物を輸送するのに適しているから。
 - 目的地までの距離が遠くなるほど、移動にかかる所要時間の短縮効果が、鉄道に比べて航空機の方が大きくなるから。
 - 羽田空港と新千歳・那覇を結ぶ路線は、主に海外からの観光客が国際線から乗り継ぐための専用路線として整備されているから。
- 問7 甲州街道のような旧街道沿いにおいて、道路の左右に商店が立ち並び独特の街並みが形成された歴史的な背景と理由について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 参勤交代などの往来が増えたことで、旅人の休憩や宿泊、物資の売買を行う拠点が必要となったため。
 - 大規模な工場が建設され、そこで働く労働者のための社宅と購買部が街道沿いに配置されたため。
 - 河川の氾濫から建物を守るために、標高の高い自然堤防の上に商業施設を集中させたため。
 - 都市計画によって、山間部を切り拓いて大型ショッピングモールを建設し、周辺を住宅地としたため。
- 問8 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
 - 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。
 - 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。
 - 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。
- 問9 関東地方の各県の工業的特徴を比較した際、製造品出荷額等の合計が約18兆円と非常に大きく、かつ産業内訳において「化学工業」や「鉄鋼業」の占める割合が他県に比べて高い特徴を持つ県はどこですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 神奈川県
 - 埼玉県
 - 群馬県
 - 千葉県
- 問10 近年の関東地方において、長年続いてきた都心への一極集中に対し、一部で見られる「分散」の動きの背景として、最も関係が深い事柄を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- 情報通信技術の活用によるテレワークの普及
 - 都心部における大規模な工業団地の造成
 - 農業における労働環境の悪化と離農者の増加
 - 交通網の遮断による物理的な移動の制限
- 問11 昼夜間人口比率は、ある地域の夜間人口に対する昼間人口の割合を示したものです。ある地域における「昼間人口」を算出するための正しい計算式として適切な説明はどれですか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
- その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、さらに他市区町村から転入してくる人を引く。
 - その地域の夜間人口に、地域外へ通勤・通学する人を加え、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を引く。
 - その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。
 - その地域の夜間人口に、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加え、さらに他市区町村へ転出する人を加える。
- 問12 関東地方の北西部に位置し、東経140度の経線が通過する県の一つである群馬県について、県名と名称が異なる県庁所在地として正しいものを選択してください。なお、隣接する中部地方の県庁所在地と混同しないよう注意が必要です。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- 前橋市
 - 甲府市
 - 高崎市
 - 長野市